

(別紙様式4)

### 提出された意見等の概要とこれに対する考え方

案 件 名 : 尼崎西宮芦屋港の長期構想 (案)  
意見募集期間 : 令和2年12月21日～令和3年1月8日  
意見等の提出件数 : 46件 (12人)

項目等	意見等の概要	件数	県の考え方
4. 尼崎西宮芦屋港の長期構想	(概要2ページ、本文73ページ) 一文字沖防波堤の留保ゾーンの埋立は、南海トラフ地震対応として、早急に検討を進め、対策を講じるべきである。	1	〔今後の検討課題〕 災害廃棄物の処分場については、関係者が多く、環境等への影響も考慮する必要があること等を踏まえ、検討していきます。
4. 尼崎西宮芦屋港の長期構想	(概要2ページ、本文73ページ) 一文字防波堤機能を補強するために、防波堤前面に高盛土で用地を造成することにより、尼崎地区への風浪を減殺することができるのではないかと。	1	〔既に盛り込み済みです〕 ご意見については、本文73ページに、尼崎西宮芦屋港の長期構想の主要施策「災害廃棄物の処分を見据えた尼崎西宮芦屋港の機能の発展と次世代の大阪湾港湾の利用ゾーン(留保ゾーン)の開発計画の検討」として、記載しています。
4. 尼崎西宮芦屋港の長期構想	(概要2ページ、本文73ページ) 一文字沖防波堤南側にも将来は用地造成がされた場合、大阪港の新島、神戸港の六甲アイランド南の沖合の3島を連絡するための、幹線道路の計画も検討すべきである。	1	〔今後の検討課題〕 将来的な土地利用については、今後、幅広い観点からの検討が必要と考えています。
4. 尼崎西宮芦屋港の長期構想	(概要2ページ、本文72ページ) 自然環境の保全のためには、行政の力だけでなく、地域の力も必要であるので、自然環境保全に関する醸成だとか、行政と地域が連携した環境保全の推進のような記述が必要ではないかと。	1	〔ご意見を反映しました〕 ご意見を踏まえ、本文P. 72に次のとおり記述等を追加しました。 「阪神エリアの貴重な海浜である御前浜・香櫨園浜等は、市民の方の清掃活動等により、美しく保たれている。海浜の保全・再生・創出に向け、このような浜に浚渫等で発生した良質な砂の補填を検討していく。」
4. 尼崎西宮芦屋港の長期構想	(概要2ページ、本文70ページ) 物流を支える道路ネットワークをより広域的な視点から見据え、道路機能の充実を図ることを長期構想に位置づけるべきであり、3市臨海部の更なる発展を目標とし、「尼崎市方面への湾岸側道の東伸」を施策に加えていただきたい。	1	〔今後の検討課題〕 湾岸側道の東伸は、周辺道路の交通量への影響など、臨海部全体の道路計画を踏まえて検討する必要があります。

4. 西宮長想 西宮港期 西宮港期 西宮港期	（概要2ページ、本文73ページ） 南海トラフ等、大規模災害に対応するハード整備及び老朽化対策は、引き続き重点的な推進をお願いしたい。	1	〔既に盛り込み済みです〕 ご意見については、本文73ページに、尼崎西宮芦屋港の長期構想の主要施策「施設老朽化等に対応する戦略的かつ効率的なインフラ・メンテナンスの推進」に記載のとおり、着実に取り組みます。
4. 西宮長想 西宮港期 西宮港期 西宮港期	（概要2ページ、本文70ページ） 末広地区と東海岸町沖地区とを結ぶ東西連絡路ができると、港湾利用者だけでなく、一般の利用者にとってメリットがあるので、是非推進をお願いしたい。国道43号関連の渋滞緩和にも大きな効果があると思う。	1	〔ご意見を反映しました〕 ご意見を踏まえ、本文P. 69に次のとおり記述を追加しました。 「国道43号の渋滞緩和にも貢献し、沿道環境の改善等の効果も想定される。」
4. 西宮長想 西宮港期 西宮港期 西宮港期	（概要2ページ、本文71ページ） 市民としては、野球やサッカーなどのスポーツの環境充実化も必要であると感じるため、長期構想では、マリンスポーツだけとせず、海辺周辺のスポーツ施設の環境充実化や連携についても触れていただきたい。	1	〔今後の検討課題〕 長期構想では、西宮地区の大きな特徴であるマリンスポーツをさらに充実させる観点で施策を立案しました。一方、スポーツ施設の充実・連携は、地元市が主となって、連携しながら取り組む課題と認識しています。
4. 西宮長想 西宮港期 西宮港期 西宮港期	（概要2ページ、本文76ページ） 港湾部に物流拠点、交流拠点を建設することは、地震による津波に自ら命を沈めることになるのではないか？	1	〔その他〕 ゾーニングは、現状や社会情勢、利用実態等に基づき設定しています。
4. 西宮長想 西宮港期 西宮港期 西宮港期	（概要2ページ、本文70ページ） 1970年代の高度成長期にみられた内陸部と港湾部を結ぶという手法を行ったとしても、以前のような活力のある日本の再生は無いと思う。	1	〔その他〕 阪神間臨海部や高速道路網の充実している箇所に物流施設が立地している事を踏まえ、内陸部と臨海部の連携について検討しています。
4. 西宮長想 西宮港期 西宮港期 西宮港期	（概要2ページ、本文76ページ） 人口減少は消費量の減少とも捉えることができるわけであり、更なる物流ゾーンが必要だろうか？	1	〔その他〕 ゾーニングは、現状や社会情勢、利用実態等に基づき設定しており、物流ゾーンの整備は、新たな企業を誘致することで、地域経済の発展、背後圏の雇用促進につながることを期待しています。
4. 西宮長想 西宮港期 西宮港期 西宮港期	（概要2ページ、本文76ページ） 緑地レクリエーションゾーンを建設したとしても、夏は37℃以上になる日が連続するのに、誰が緑地レクリエーションゾーンまで、足を踏み入れるか？	1	〔その他〕 ゾーニングは、現状や社会情勢、利用実態等に基づき設定しており、緑地レクリエーションゾーンは、お住いの皆様はじめ多くの方に、四季を通じて水辺と親しんでいただくことを期待しています。

4. 西宮宮港期 西屋長想 尼崎宮港期の構	(概要2ページ、本文76ページ) 災害廃棄物の処分を見据えた尼崎西宮宮港の機能の発展と次世代の大阪湾港湾の利用ゾーンは、なぜあの海域なのか？その海域にはどのような海中生物がいて、それらへの影響を詳細に調査すべきである。	1	【今後の検討課題】 西宮防波堤以北の西宮地先水面は、航路、船舶の停泊及びヨットの帆走等の水域として保全する必要があるため、西宮防波堤以南の海域で検討することとしました。計画の検討の進捗とあわせ、環境影響評価など、しかるべき調査を実施します。
4. 西宮宮港期 西屋長想 尼崎宮港期の構	(概要2ページ、本文66ページ) 「災害ガレキにも対応可能な浚渫土砂等の新たな受入れ場所の確保」は喫緊の課題と考える。 また、県内部で、港湾部局が災害ガレキ等をどこまで受け持つことにするのか、という課題の整理も必要ではあるが、躊躇せず進めて欲しい。	1	【今後の検討課題】 災害廃棄物の処分場については、関係者が多く、環境等への影響も考慮する必要があること等を踏まえ、検討していきます。
4. 西宮宮港期 西屋長想 尼崎宮港期の構	(概要2ページ、本文71ページ) 大型の船を誘致し将来の観光や来訪者に備えるとありますが、現在大型の船を誘致する場所はない。また、大勢の方が入ってくると輸送手段などに問題が起き、地域住民が納得はしないと思う。	1	【その他】 スーパーヨットは、超富裕層が個人所有する全長24m以上、乗客定員12名の大型クルーザーです。長期構想では、既存の新西宮ヨットハーバーのビジターバースを対象に、ソフト・ハード対策を検討します。少人数であるため、ハイヤー等の移動手段で観光地（大阪・京都等）に向かうのが主流であり、輸送手段等で問題が起きる事はないと考えています。
4. 西宮宮港期 西屋長想 尼崎宮港期の構	(概要2ページ、本文73ページ) 一文字沖の埋め立て計画において、瓦礫を使用するのであれば考える必要がある。また、集客施設の誘致や住宅などの建設などを考えているか。尼崎21世紀の森などのように海沿いに大きな森を作られたらどうか。自然に優しい環境を作るべきである。	1	【今後の検討課題】 災害廃棄物の処分場については、関係者が多く、環境等への影響も考慮する必要があること等を踏まえ、検討していきます。
4. 西宮宮港期 西屋長想 尼崎宮港期の構	(概要2ページ、本文72ページ) 甲子園浜等の砂浜に阪神間の川砂利等補充してはどうか。	2	【ご意見を反映しました】 地元の皆様にご協力いただき、砂浜が美しく保たれていることにお礼申し上げます。ご意見を踏まえ、本文P.72に次のとおり記述等を追加しました。  「阪神エリアの貴重な海浜である御前浜・香櫨園浜等は、市民の方の清掃活動等により、美しく保たれている。海浜の保全・再生・創出に向け、このような浜に浚渫等で発生した良質な砂の補填を検討していく。」

4. 尼崎西宮港長期構想	(概要2ページ、本文71ページ) 2025年関西万博でのスーパーヨット来航を見据え、スーパーヨット用棧橋を作り、現行の港湾周辺での構想を考え目指すべきではないか。	1	〔既に盛り込み済みです〕 ご意見については、本文71ページに、尼崎西宮芦屋港の長期構想の主要施策「海洋性レクリエーションの発展に向けた活動空間・マリーナ等の環境充実」として、記載しており、新西宮ヨットハーバーでの施設整備等を検討していきます。
4. 尼崎西宮港長期構想	(概要2ページ、本文71ページ) 荒天時にスーパーヨット等が避難できる施設を整備すべきではないか。	1	〔今後の検討課題〕 荒天時には、スーパーヨットは風浪の影響が少ない水域に避難すると聞いています。 ご意見については、今後の港湾行政の参考にさせていただきます。
4. 尼崎西宮港長期構想	(概要2ページ、本文69ページ) 物流機能として、海上輸送だけでなく、基幹道路や鉄道、空港などと連携して、物流ネットワークの強化を図ることが望ましい。	1	〔既に盛り込み済みです〕 ご意見については、本文69ページに、尼崎西宮芦屋港の長期構想の主要施策「RORO航路の活用による海上輸送網の充実」、「港湾利用貨物の陸上アクセス向上による内陸部との連携強化」として、記載しています。
4. 尼崎西宮港長期構想	(概要2ページ、本文71ページ) 生活環境の観点からは、尼崎21世紀の森など、都市部における貴重な緑地や親水空間として、引き続き、機能向上などのハード整備、施設のネットワーク化やパッケージ化、民間活力の活用などに取り組んでほしい。	1	〔既に盛り込み済みです〕 ご意見については、本文71ページに、尼崎西宮芦屋港の長期構想の主要施策「海浜再生、新たな緑地の整備と既存親水空間のネットワーク化」、「親水性緑地や干潟、海浜などの保全・「再生・創出」として、記載しています。
4. 尼崎西宮港長期構想	(概要2ページ、本文73ページ) 防災機能として、留保ゾーンでの災害廃棄物処分場だけでなく、公共空地での災害廃棄物やがれきなどの仮置き場、支援物資・資機材の拠点としての機能も重要と考える。	1	〔今後の検討課題〕 災害廃棄物の処分場については、関係者が多く、環境等への影響も考慮する必要があること等を踏まえ、検討していきます。
その他	計画規模に関係なく、複数回の県民・住民の参加は、この現代社会において基本的なことであると思う。	1	〔その他〕 ご意見については、今後の港湾行政の参考にさせていただきます。

その他	地球温暖化により引き起こる豪雨災害に対応するために、切れている西宮浜防波堤以南をつなげることのみが、「尼崎西宮芦屋港の長期構想（案）」の中で、必要不可欠である。	1	〔その他〕 ご意見については、今後の港湾行政の参考にさせていただきます。
その他	ダムに頼らない治水対策や指令機関の崩壊はあってはいけないことなので、職員の増員を含め出来ることから始めるべきだと思う。	1	〔その他〕 ご意見については、今後の港湾行政の参考にさせていただきます。
その他	(概要2ページ、本文73ページ) 廃棄物の地盤とする土地利用については、化学物質の汚染土壌の上を利用することであり、安易な土地利用は避けるべきである。今の若い世代は、化学物質過敏症等も増えていることも考慮するべきである。	1	〔その他〕 一般的に、廃棄物を埋立用材として使用する場合には、環境に関する基準を設けています。
その他	コロナ禍の体験の中で、各世代が求める街がどの様な内容か、又、全世代が共通して求める街はどのようなものなのかをまず調べるべきである。	1	〔その他〕 既存の土地については、継続性の観点から、現在の利用を踏まえています。今後開発する部分については、コロナ禍や社会情勢を踏まえ、地元市や経済界のご意見もいただきながら策定しています。
その他	今あるものや計画されていることを、もう一度必要かどうかを精査し、今後発生する高額なメンテナンス料を確保することが最優先だと思う。	1	〔その他〕 長期構想は、将来の姿を示すものであり、具体の事業実施の段階で、ご指摘の維持管理も含めて検討します。
その他	このパブコメが周知されていない。	1	〔その他〕 令和2年12月18日（金）に記者発表を行っています。
その他	現在西宮大橋は地震で壊れ、その後の修復もありますが海風や潮の影響でだいぶ傷んでいます。対応を考えるなら現実問題としてそちらの修復や再架橋の方が先決ではないか。	1	〔その他〕 西宮大橋は、「ひょうごインフラメンテナンス10箇年計画」に基づき、適切に維持管理をしています。
その他	地震や津波で壊れたものに対する修復や護岸整備が先ではないか。	1	〔その他〕 災害対策は、「津波防災インフラ整備計画」や「兵庫県高潮対策10箇年計画」に基づき、取り組んでいます。

その他	(本文 20 ページ) 名湾側道の件も現在進んでおり、未だ西伸部の構造や場所など確定していない時期に、名湾側道の件を持ち出すのは少し早いのではないかと思う。	1	〔その他〕 本長期構想は、概ね 30 年程度の長期的視野（目標年次：2050 年）に立って、施策を立案しているため、名神湾岸連絡線を考慮しています。
その他	コロナで大変な時になぜ必要でない工事のことや将来構想などが出てくるのでしょうか。この構想は一旦中断するべきである。	2	〔その他〕 コロナ禍の対応と並行し、出来ることに取り組んでいます。
その他	大阪湾周辺の交通は、空港・鉄道・航路・高速道路がある中での港の長期構想がない。	1	〔その他〕 大阪湾港湾の背後圏をとらえ、「産業」や「物流」、「防災」、「環境」などについて、大阪湾の将来のあるべき姿を想定し、港湾に求められる役割、具体的な施策等とりまとめた、「大阪湾港湾の基本構想」があります。
その他	人口減やドライバー不足が予想されると記載がある一方で、高速道路網が充足しているのでそれに合わせて港湾整備の必要とあるが、当然、港湾利用も減るはずなのにその対応の記載がない。	1	〔その他〕 長期構想では、尼崎西宮芦屋港が地域をけん引する港としての役割を果たすべく、概ね 30 年程度の長期的視野（目標年次：2050 年）に立ち、施策を検討しています。
その他	ドライバー不足でトラックが減る予想もあるし、神戸市のハーバーハイウェイと阪神高速の神戸線と湾岸線を相互利用する事や湾岸西伸部が開通後に名神湾岸連絡線を考えれば良いことで、この構想に記載すべきではない。	1	〔その他〕 長期構想では、尼崎西宮芦屋港が地域をけん引する港としての役割を果たすべく、概ね 30 年程度の長期的視野（目標年次：2050 年）に立ち、施策を検討しているため、名神湾岸連絡線も考慮しています。
その他	(概要 2 ページ、本文 73 ページ) 港内浚渫土や南海トラフ巨大地震などの大規模災害で発生する災害廃棄物等の処分の為に海を埋めることはSDGs に反している。陸域で発生する浚渫土や建設汚泥・残土と災害廃棄物は、陸で解決すべきである。	1	〔その他〕 港や河川の浚渫土砂及び想定を超える大規模災害で発生する災害廃棄物の処分場を検討しています。

その他	今のフェニックス地には企業を誘致せず、また、これまでの埋立地にあるかなりの空き地と共に、ここに浚渫土や建設汚泥・残土を改良したり災害廃棄物の無害化と小さく破碎して高潮や津波被害から大丈夫な高さに盛土するか、常にここに運んで人工の山にしてはどうか。また、この山が高くなるないように廃棄物を少なくする為の産業が興るようにしてはどうか。	1	<p>〔その他〕</p> <p>フェニックス事業用地は内陸部の住工混在を解消することで、生活・操業環境が向上することや、新たな企業を誘致することで、地域経済の発展、背後圏の雇用促進につながることを期待しています。</p>
その他	災害が起きても建物が壊れないようにしたり、電柱の地下化や橋・トンネルの耐震化をすれば災害廃棄物をかなり減らせると思う。	1	<p>〔その他〕</p> <p>想定を超える大規模災害で発生する災害廃棄物の処分場を検討しています。</p>
その他	日本の瀬戸内海を含めた太平洋側は、大きな災害や原発事故起きています。また、北極海の氷が溶けているので北極海周りの貨物船が増えて、冬季以外は日本海側の港利用が増えて尼崎西宮芦屋港の利用が減るかもしれない。	1	<p>〔その他〕</p> <p>長期構想では、尼崎西宮芦屋港が地域をけん引する港としての役割を果たすべく、概ね 30 年程度の長期的視野（目標年次：2050 年）に立ち、施策を検討しています。</p>
その他	パンデミックが収まった後の世界の物流がどうなるのかを検討すべきである。	1	<p>〔その他〕</p> <p>世界の物流動向や社会経済情勢の変化に対応しながら、長期構想を適宜改訂していきます。</p>
その他	パブリックコメントの期間が年末年始を含む1ヶ月にも満たなかったこと、また、現在コロナ禍である事を踏まえ、一旦停止し、パブリックコメントの再実施を求める。	1	<p>〔その他〕</p> <p>期間は要領に基づき実施しており、コロナ禍の対応と並行し、出来ることに取り組んでいます。</p> <p>なお、パブリックコメントの再実施の予定はありません。</p>

その他	<p>今の重要事項は特に海の環境を取り戻す役割を果たすべきだと考える事に加え、コロナ禍を経て、賑わいよりも安心・安全、集中よりも、分散・社会的距離の確保の追求が課題であり、今すぐに必要とは感じられない施策が並ぶため、着手「施策」は、撤回又は一旦停止・棚上げしてください。</p>	1	<p>【その他】 長期構想では、尼崎西宮芦屋港が地域をけん引する港としての役割を果たすべく、概ね 30 年程度の長期的視野（目標年次：2050 年）に立ち、施策を検討しています。</p>
その他	<p>これから訪れるであろうインバウンドを考え、瀬戸内海クルーズのスタート地として尼崎西宮芦屋港を構想すべきではないか。</p>	1	<p>【その他】 ご意見については、今後の港湾行政の参考にさせていただきます。</p>